

へりくつなあ〜



金沢市異業種研修会館

館長 青木 健一

2022年4月から館長を務めています。3月までは金沢大学副学長として入試・教育の責任者で、山のキャンパスで学生・教員を相手に日々激論していました。安原に来ると、うってかわって地平線も見えるような雄大な光景、若い時にアメリカの大平原に立った感覚が蘇りました。

この会報の名前は「りくつなあ〜」です。人生の半分は金沢にいますが初耳でしたので調べると、ある新聞の北陸方言番付で前頭6枚目。「りくつなあ〜」には良い意味がなく「へ理屈」は含まないようですが、私の専門は湯川秀樹以来の理論物理学、「へ理屈」もまた大切で、そこから大発見という事例もあります。そこで、「へ理屈」を書いてご挨拶に代えますので、注意して読んで下さい。

最近、ふと気づいたこと：新型コロナ・ウイルスこそが、地球と人類に投与された「ワクチン」だったのではないか！

新型コロナ・ウイルスは、人類文明を危機に陥れる程の毒性はありません。つまり、弱毒化されていたのです。このウイルスの出現を機に、人類は多くの「抗体」を作りました。例えば、地球はひとつのエコシステムであること、問題解決のためには国際的な連携・連帯が必須であることを再認識させられ、ICTを活用した新しい生活と仕事のメソッド習得を強要され、集団として社会として鍛えられました。この「ワクチン」がなければ一世代20年かかったような変革が1年でできてしまいました。他方、多くの国や組織が、いざとなれば非常にエゴイスティックに行動するという事も学ばされました。これも大事な経験・知識です。これらすべてが、私たち人類社会の得た「抗体」です。

これらの「抗体」は、未来の新微生物に限らず、温暖化や富の極端な偏り等あらゆる困難に人類が対抗するために有効です。ただし、抗体の有効期間がどのくらいなのかは別問題です。非常に短いかもしれません。人は忘れやすいですから。

そして、新型コロナ・ウイルスだけでは足りないとも思われたのか(誰が?)、その役割が終わる前に、もうひとつの試練が始まりました。それは、現に起こっている大規模な「戦争」です。「もうひとつのワクチン」と評するには憚られるレベルの試練です。日々のリアルな映像が直接世界中に発信され、国の指導者は他国の議会でネット演説、もはやニュースにもならない。ここでもまた、「世界はひとつ、菌車がひとつ壊れれば地球は回らなくなる」という事実により多くの人が目を覚まされつつあります。

「へ理屈」らしくまとまらない話でしたが、未来の人類に「りくつな人々がちゃんといたので、人類と地球の今がある」と語ってもらえるように微力を尽くせればと思っています。

安原工業団地協同組合会報

YASUHARA INDUSTRIAL PARK
COOPERATIVE SOCIETY
NEWSLETTER
NO. 33

令和4年9月1日発行

2022.9
第33号

発行 安原工業団地協同組合
〒920-0377
金沢市打木町東1400番地
(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411
FAX (076) 240-1903

令和4年度第27回安原工業団地協同組合通常総会開催

5月30日第27回通常総会が金沢市異業種研修会館において、組合員130名(委任状出席を含む)が出席し、開催されました。

米澤卓也理事長から、今年度もまだコロナウイルスが治まらないが、社会経済もまわしていかなくてはならない、というので組合の行事も例年通り行う前提で予算を組み、赤字予算となったが、切り詰めるところは切り詰めていきたいとの挨拶があった。

議長には、横田義尾氏が選出され、議案審議はスムーズな進行で下記6議案が上程され、全て原案どおり可決承認決定されました。

議案

第1号議案 「令和3年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、財産目録及び利益剰余金処分(案)承認の件」

第2号議案 「令和4年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認の件」

第3号議案 「令和4年度経費の賦課及び徴収方法決定の件(案)」

第4号議案 「令和4年度借入金残高の最高限度額決定の件(案)」

第5号議案 「役員報酬決定の件(案)」

第6号議案 「任期満了に伴う役員選出の件」

役員選出後、理事会を開催し、代表理事には米澤卓也氏が再任され、議場に報告されました。

新役員の方々は別表通りです。



組合役職員名一覧

顧問	安嶋 勇
理事長	米澤 卓也
副理事長	岩上 伸人
副理事長	越野 英司
副理事長	紙本 敬章
副理事長	中村 俊彦
理事	池田 秀樹
理事	笠井恵美子
理事	北 卓
理事	田中 泰
理事	塚本 裕二
理事	中川 政一
理事	新川 基
理事	三島 克也
理事	野村 了
理事	羽野 芳康
理事	東山 敦子
理事	本保 順士
理事	道下 雅夫(新任)
理事	横田 義尾
理事	米澤 隆亮
監事	北村 直樹
監事	塚本 一樹
監事	宮村 尚
事務局長	押田 幹夫
事務員	山口美枝子
事務員	中田 晴菜
事務員	前田 京子

新理事よりひとこと



理事 道下 雅夫

この度、理事に選任いただきました道下です。
未熟者ではありますが、偉大な諸先輩方のご指導をいただき
組合の発展に寄与できればと思っております。
何卒よろしくお願いいたします。

～おめでとうございます～

令和4年度中央会組合功労者県知事表彰を 北村直樹氏 塚本一樹氏が受賞

石川県中小企業団体中央会令和4年度表彰式が6月10日(金)ホテル日航金沢で開催され、北村直樹氏(㈱エス・イー・キタムラ)塚本一樹氏(㈱ツカモト)が中央会知事表彰(組合功労者)を受賞されました。おめでとうございます。

本年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症のまん延防止の為に表彰式と総会のみの開催となりました。北村氏は平成18年から理事及び監事として、塚本氏は平成18年から理事及び副理事長並びに監事として組合運営に携わり、地域との融和を進め、組合発展に多大な貢献が評価されたものです。今後とも組合のより一層の発展のため活躍されるようお願い申し上げます。

健康講座を開催



令和4年8月9日(火)午後6時から金沢市異業種研修会館において、石川産業保健総合支援センター 所長 小山善子氏を講師に迎え、「事業場における若年性認知症への対応について」というテーマで健康講座を開催。組合員23名の参加がありました。

小山先生は、働き盛りを襲う若年性認知症の事例を交えながら、事業主が実践できる対応策について講演されました。

組合員交流会

7月22日(金)に安原工業団地協同組合主催の第14回夏の交流会がヴィラ・グランディス ウェディングリゾート金沢新館にて3年ぶりに行われました。



49名参加で、パーティー等、感染対策もしっかりされての開催でした。

地元アイドル、西金沢少女団の可愛らしく元気のある歌やパフォーマン

スに参加者からも手拍子とマスク越しのいい笑顔が沢山溢れていました。

地元、福増町在住のシンガーソングライター 前川ヒロユキさんの弾き語りで、今の時代にあう「365歩のマーチ」や石川県民には耳なじみのあるCMソングも披露していただき、ビンゴゲーム等で久しぶりに楽しいコロナ禍前の思い出す時間を過ごすことが出来ました。



健康への取り組み

今年の組合定期健康診断は、8月4日(木)、5日(金)の2日間、金沢市異業種研修会館にて、一般財団法人石川県予防医学協会により実施されました。

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健診時間を指定することで密を避けることができ、安心でスムーズな健診が行われました。

2日間で384名の方が受診されました。

初日が予想もしなかった大雨で少しキャンセルも出たので昨年度よりは少なくなりました。

受診の結果を踏まえて、健康状態をチェックし健康づくりに心がけましょう。



ものづくり実践塾キックオフセミナー

令和4年5月31日(火)午後2時から金沢市異業種研修会館において、ものづくり実践塾キックオフセミナーが開催されました。当日は25名が、うち安原からは6社8名の参加がありました。

ものづくり実践塾は、金沢市ものづくりコーディネーター前川幸次氏、製品開発に詳しいデザイナー飯尾豊氏、弁理士宮田誠心氏の3名で構成する支援チームが、中小企業者の製品開発を支援していく製品開発塾です。今回のセミナーでは、昨年度の実践塾参加3社が自社開発製品を紹介したほか、支援チームからヒット商品の事例、自社技術・設備を活かした製品開発を行うポイントなどの説明がありました。



第1回 ものづくり実践塾

7月21日に採択決定通知書が交付され、令和4年度ものづくり実践塾が始まりました。

本年度は(株)みづほ室内工業、馬場化学工業(株)の2社が参加し、今後、月1回のペースで塾を開催し、自社技術・設備を活かした製品開発に挑戦していきます。来年3月には成果品の報告会を開催することとなっています。

里山保全関連事業へ 小松市に企業版ふるさと納税

(株)ヒガシヤマは企業版ふるさと納税を活用し小松市に300万円を寄付しました。小松市の里山振興に取り組む一般財団法人「こまつ里山SDGs倶楽部」の鈴木康夫代表理事が、同社のコンサルティングを担当している縁での寄付で、寄付金は市内の里山保全関連の事業に充てられます。



7月20日(水)小松市役所で贈呈式があり、東山裕一社長は宮橋勝栄市長に目録を手渡し、市長より感謝状を贈られました。

近年SDGs(持続可能な開発目標)という言葉が耳にすることが多くなりました。

会社を運営していることはすでにSDGsのいくつかの項目に当てはまります。

これからの社会に向けてそれぞれが出来ることを取り組んでいきたいと思っています。

地元製造現場で高校教員が研修

石川県内の工業系と農業系教員を対象とした現場研修が8月1日から4日間行われ、8月2日(火)は工業系の8人が製造業4社の工場をそれぞれ視察しました。(株)ヒガシヤマでは教員4人が社員の説明を受け、工作機械で加工する様子を見学し、質疑応答の時間も設けられました。



県鉄工機電協会、県繊維協会、県食品協会が協力し、石川県教育委員会の初の試みでした。

ものづくりに興味のある若者を育てるための次世代育成の新しい形が始まっていると感じました。

女性部 活動報告

《総会報告及び事業計画》

安原工業団地協同組合女性部「桜梅桃梨の会」第20回通常総会を令和4年6月10日(金)お食事 Bar つばめにて出席者10名の参加で開催しました。



議案審議は以下の3つの事項で、全て原案通り承認されました。

1. 令和3年度事業報告書及び収支決算書承認の件
2. 任期満了に伴う役員選出の件
3. 令和4年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認の件

今年度事業内容は次の通りです。

1. 講習会、研修会に関する事業
会員のために資する各種講演会、研修会を行う。
2. 親睦並びに情報交換に関する事業
会員相互の親睦並びに情報交換を図る。
3. 組合の事業に対する協力に関する事業
各種組合事業に協力する。
4. ボランティア活動推進に対する事業
古切手収集及びプルタブ収集を通じて福祉団体へのボランティア活動を行う。
5. 目的達成のために必要な事業
会の運営を円滑にするため理事会を開催する。
6. 飾花に関する事業
年3回(6月、11月、3月)花苗の配布により、バス通りなどに飾花する。

《飾花推進運動》

6月11日(土)幹線道路のプランターにサルビアやマリーゴールドなどの夏の花々の植え替えをしました。カラフルな花たちが目の癒しになればと思います。皆様には水やりなどご協力いただき感謝しております。

暑い日が続きますが、今年もご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

《第1回研修会》

7月8日(金)にヴィラ・グランディス ウェディングリゾートにてシンガーソングライター前川ヒロユキ氏をお迎えし、参加者9名で音楽観賞会を開催しました。



2002年バンド「サンフラワーズ ガーデン」でメジャーデビューされ、2021年から地元でソロ活動をされています。

トークとギターでヒット曲や聞き馴染みのある地元CMソングを弾き語りで歌って頂きました。さすがプロ、迫力のある歌声に感動しました。

《令和4年度 女性部役員》

部 長	東山 敦子	(株)ヒガシヤマ
副部長	池野 菊枝	(有)アイエスコポーレーション
副部長	新川 基	(株)佐々木塗装工業
会 計	笠井恵美子	(有)笠井鉄工
理 事	尾内まつ子	尾内左官工業所
理 事	吉岡 敏子	(株)吉岡機販
監 事	池田ともね	ハイテクス工業(株)
監 事	中村 美春	スペースプロデュース(株)ナカムラ

青年部 活動報告

青年部の令和4年度 第22回通常総会は、6月11日(土)18時30分よりかなざわ石亭にて部員数25名(委任状10名を含む)の出席で開催いたしました。

開会宣言のあと、横田部長の挨拶から始まり6つの議案を審議し、承認されました。

- 第1号議案 令和3年度事業報告
- 第2号議案 令和3年度決算報告及び監査報告
- 第3号議案 令和4年度役員選任(案)
- 第4号議案 令和4年度事業計画(案)
- 第5号議案 令和4年度収支予算(案)
- 第6号議案 令和4年度年会費(案)

令和4年度事業の内容は下記の通りです。

1. 各種会議
 - ・総 会(6月11日(土)開催済み)
 - ・幹事会(必要に応じ部長または副部長が招集)
2. 組合の事業に対する協力に関する事業
 - ・ソフトボール大会の運営(9月11日)
 - ・組合、町会合同ゴルフコンペ大会の運営(9月19日)
 - ・若者の交流会の企画、運営 (10月予定)
3. 研修会に関する事業
 - ・視察研修旅行(10月予定)
 - ・交流研修会(翌年2月予定)
4. 親睦並びに情報交換に関する事業
 - ・青年部忘年会(12月予定)

令和4年度安原工業団地青年部役員

部 長	横田 義尾	(株)金石製作所
副部長	市原 成一	ミナミ金属(株)
副部長	池田 良彦	ハイテクス工業(株)
会 計	紙本 寛之	(株)紙本鉄工
幹 事	生駒 健次	(株)イコマ・メカニカル
幹 事	藤井 大雄	(株)北国クリーンサービス
幹 事	金子 睦	(株)北陸電器製作所
幹 事	米澤 剛	暁化学工業(株)
幹 事	米澤 隆亮	(株)米澤製作所
幹 事	別所 秀人	別所機械(株)
幹 事	中川 一樹	(株)中川機工
監 事	本保 順士	(株)本保熔接
監 事	田中 逸郎	田中昭文堂印刷(株)

青年部の活動はさまざまな業種の会社の部員の交流・意見交換はもちろんですが、安原工業団地の活性化、地域の方々との交流も目的としています。令和4年度に相応しい企画・運営を行い、安原工業団地の皆さんが参加してくれるように努力するとともに、青年部の活動をご理解頂き、今後ともご協力(青年部入部)をお願いいたします。

あとがき

コロナ禍になり三年目となりました。三年間の間、普段の生活や職場でマスク越しの会話や検温から始まる朝が続いていると思うと寂しい気持ちにもなりますね。一日も早く感染対策に気を取られず生き生きと働ける職場が戻ってくることを、皆さんが健康であることを願います。そんな中でも安原工業団地協同組合は事業活動を通じて魅力ある安原工業団地を発信します。また第五次安原工業団地整備事業も着々と進み、道路も整備され新しい安原工業団地が始まりそうです。(H)

発行責任者 米澤 卓也
編集委員 岩上 伸人、羽野 芳康、笠井 恵美子、
田中 泰、東山 敦子、横田 義尾、
押田 幹夫、山口 美枝子